

市民の声を大切に

實松新市政スタート



前市長の辞職に伴い神埼市長選挙が、4月28日に行われ投票の結果、實松尊徳氏が新市長となりました。

4月30日午前8時30分、職員や市民の皆さんから拍手で迎えられて、實松市長が初登庁しました。

市民や職員から花束が手渡され、その後幹部職員を前に訓示を述べました。

問 総務課 秘書広報係 ☎ 37・0088

市長就任にあたって

皆さん、こんにちは。この度、市長に就任しました實松尊徳です。市民の皆さんにおかれましては、日頃より市政に特段のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、前市長の突然の辞職により、市政は大きく混乱を致しました。市民の皆さんからは「二度とこのようなことが無いようにしてほしい」という言葉をたくさんいただきました。まずは、今回の不祥事の検証を行い、再発防止策を講じるとともに、市職員が市民の皆さんの声を大切にすることで、市政に対する信頼回復に努めてまいります。

神埼市の発展に向けて、私をトップに職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

市長に伺いました！

Q. 現在の神埼市にどのような印象がありますか

地域資源が豊かな市という印象を持っています。例えば、歴史。お玉ヶ池種痘所（のちの東京大学医学部）の設立に中心的役割を果たした蘭方医の伊東玄朴や、社会教育に尽力した下村湖人など、神埼市は多くの偉人を輩出しています。

また、農作物も、米・麦・大豆だけでなくイチゴやアスパラガスなどの生産も盛んです。そして、神埼そうめん、さしみこんにゃく、菱（ひし）を使ったお菓子など、特産品も豊富です。どれを取っても本当に素晴らしいと思います。

Q. 市長として力を入れたいことはなんですか

大きく二つ。一つは、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくり。豪雨災害は、人の生命や財産を一瞬にして奪ってしまいます。そのようなことが無いように防災に取り組みたい。

もう一つは、若い人たちが活躍・チャレンジできる環境づくり。農業や商業などの分野でチャレンジしたいという人や、海外留学をしたいという子ども達を支援し、将来の神埼市で活躍する人たちの後押しをしたい。

Q. 市長選挙に出ようと思ったきっかけは

前市長の不祥事により、神崎市が大きく混乱しているのを見て、神崎市政を早く正常に戻し、神崎市の発展に貢献したいと思いました。

また、私を育ててくれた神崎市に恩返しをしたいと思い、市長選挙への出馬を決意しました。



Q. 市民の皆さんへメッセージをお願いします

神崎市は地域資源が豊富な市で、更なる発展が大いに期待できる地域です。その発展のためには、市民の皆さん一人ひとりの力が不可欠です。新たにお店をオープンする人、農作物の生産を頑張る人、介護士として活躍する人、伝統芸能を継承する人など、皆さんがそれぞれの立場でご活躍いただくことが重要です。市民の皆さんと一緒に神崎市の発展のために取り組んでまいります。



實松市長プロフィール

経 歴

昭和41年11月30日生まれ

久留米大学法学部卒業

平成 3年 4月：佐賀県庁入庁

平成29年 4月：人事課長

平成31年 4月：秘書課長

令和 2年10月：政策部副部長

令和 4年 4月：文化・観光局長

令和 5年 4月：健康福祉部長

令和 6年 4月：神崎市長就任（1期目）

家 族 妻、子3人

趣 味 ウォーキング、釣り、読書

特 技 左手も器用に使える

アピールポイント 粘り強く、何事も前向きな思考になれるところ。

座右の銘 葉隠の言葉「只今の一念より外はこれなく候。一念一念と重ねて一生なり。」

實松市長に聞いてみました

○子どもの頃に夢中になったことは？

漢字の勉強とプラモデル作り。なぜか難しい漢字を書けるようになりたかった。

○休日の過ごし方は？

読書。特に、今は新たな発想のネタを探しています。

○若い職員に何を期待しますか？

何事にも前向きな思考で、チャレンジする姿勢を持つこと。初めてのことは、誰にとっても難しく、戸惑うことも多い。しかし、そこに成長へのきっかけがあると思う。



4/20 21 ステージ楽しみ神埼グルメに舌鼓 第6回かんざき神幸食フェスタ

長崎街道門前広場で「第6回かんざき神幸食フェスタ」が開かれ、市自慢のグルメが一堂に会しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、家族連れなど約11,000人が訪れてにぎわいました。

会場には屋台やキッチンカーが並び、来場者はステージで披露される多彩なショーを楽しみながら、お目当ての「神埼グルメ」を味わいました。

会場に訪れた副島かおりさん(神埼町)は「多数の出店があると知り、色々なジャンルの食べ物を楽しみに来た。たくさん食べて神埼グルメを堪能します」と笑顔。



昨年に続きキッチンカーで参加した江頭雄二さん(千代田町=ろっく Cafe)は「雨の中、多くの人に来てくれてびっくりした。ステージに立つ側も見る側も楽しめるイベントが地域にあるのはいいこと。こういった催しをきっかけに神埼が盛り上がってくれたらいいと思う」と



話しました。

フェスタは盛会のうちに終了し、実行委員長の城尾竜司さんは「たくさんのご来場ありがとうございました。もっともっと神埼の魅力を発信できるフェスにしていきます」と述べました。

4/25 出会い・ふれあい・学びの場 いつまでも いきいき大学が開校

60歳からの学びの場「いきいき大学」がはんぎーホールで開校しました。開校式に続き、初回の講座は『市の魅力』をテーマに市文化財観光案内専門員と市国民スポーツ推進課担当者が講話。

観光名所である九年庵や仁比山公園、吉野ヶ里遺跡の新たな楽しみ方や名称変更後、全国初開催となる国民スポーツ大会「SAGA2024」の紹介があり、市で開催される競技への応援を呼びかけました。好奇心や向学心を刺激された受講生は熱心に耳を傾けていました。

いきいき大学はいつでも入会することができます。



4/27 市民一丸の声援で勝利つかむ レッドトルネードSAGA 市民応援DAY

日本トップリーグで活躍するハンドボールチーム『レッドトルネードSAGA』を市民一丸となって応援するイベント「神埼市民応援DAY」が、神埼中央公園体育館で開催されました。

試合は、500人を超える来場者の応援もあり、35対30で今季15勝目を挙げました。前半から猛攻をかけ、対戦相手である大同特殊鋼に5点差をつけての勝利でした。

13年ぶりのプレーオフ進出が確定し、更なる高みを目指すレッドトルネードSAGAに今後も熱い応援をお願いします。



5/4~6 「九年庵」春の一般公開 若葉織りなす光景を満喫

ゴールデンウィーク後半の3日間、国指定の名勝「九年庵」の一般公開が行われました。天気にも恵まれた初日から、開園を待ちわびた大勢の人が訪れました。葦葺の趣ある九年庵の縁側に腰かけて庭園を眺め、日の光を浴びたモミジの若葉が織りなす光景を堪能していました。

福岡から訪れたという女性は「秋には来たことがあったが、春は初めて。木によって緑の色が違って、とても綺麗ですね」と、青空を背景に枝を伸ばすモミジを見上げていました。



5/3~5 特産品のおいしさPR 5年ぶり神埼そうめん祭り

市の特産品「神埼そうめん」のおいしさをPRする「神埼そうめん祭り」が吉野ヶ里公園で開かれ、多くの人々がそうめん流しを楽しみました。

新型コロナウイルスの影響で5年ぶりの開催となり、今年で39回目。神埼そうめん協同組合が主催し、3日間で3,000食を提供。会場には10mの割り竹2本が設けられました。感染症対策でマスクを着用し、テーブルで飲食を行う方式に変更。参加した子どもたちは、流れてくるそうめんを竹からすくい「楽しい!」と歓声をあげていました。



5/17 子どもたちに安全・安心を 民生委員・児童委員が登校見守りあいさつ運動

千代田町民生委員児童委員協議会は、5月12日から18日までの「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」に合わせて、千代田町内各小学校の通学路で「登校見守りあいさつ運動」を行いました。

見守る委員の皆さんに、登校する児童からは「おはようございます」と元気な声が響き渡りました。

また、神埼町民生委員児童委員協議会でも、5月13日から17日の期間で神埼町内各小学校に登校する児童への見守り活動が行われました。

